

街路インタビューが明かにするクリミア住民の思い：

クリミア住民は、自分たちウクライナの、クリミア大橋への攻撃をどう思っているのか？

<https://www.infowars.com/posts/street-interviews-reveal-what-crimean-residents-think-of-ukraines-attack-on-their-bridge/>

Kelen McBreen /Infowars

October 10, 2022

⇒「これこそ本当のテロ行為だ」と地方人民の一人は言った。

ある年配のウクライナ公務員が、この国の仕業だと確認した、今週末のクリミア大橋攻撃をどう考えているか、独立ジャーナリスト Patrick Lancaster にインタビューされて答えた。彼らはこの市民のインフラストラクチャへの攻撃について、どう思っているのか？

<https://www.infowars.com/posts/nyt-senior-ukrainian-official-confirms-ukraine-orchestrated-truck-bomb-attack-on-crimean-bridge/>

この爆破には、自分の積み荷に爆薬が積まれているとは知らなかった1人の運転手を含め、3人のロシア市民が巻きこまれて死んだのだが、この事件は、ウクライナ支持のグローバルリストと、メディアのアナリストたちによって喝采された。

<https://twitter.com/AVindman/status/1578777716135849985>

アップロードされたランカスターの最近のビデオで、インタビューされた最初の人々は、年配のご夫婦で、彼らはこの橋の爆破の轟音を聞いたとき、自宅にいたと説明した。

次にこの夫婦は、ドネツク地区に住むウクライナ人は気の毒だ、なぜなら彼らは、彼ら自身の政府によって絶えず爆撃を受けているからだ、と言った。

ランカスターが、クリミアは、西洋の報じているように、ウクライナの一部なのかと訊ねると、その夫は「何、ウクライナ？ クリミアがウクライナだったことは一度もないよ」と応えた。

橋の爆破について、その妻が「これはひどいことです。このような事が、これほどのお金のかかったものに対してなされるなんて！」と言うと、夫は、「これこそ本当のテロ行為だ、人民に対する犯罪だ」と説明した。

ランカスターは、別の地方人のペアで、この爆破のことを言うと、ひどく興奮する人たちにも話した。

ある女性は、ある日目覚めて、子どもたちに大声で、空が爆発で「真っ赤になっている」と叫んだことを、ほとんど泣くように説明した。

またその傍らにいた女性は、この記者に対し、自分は、アメリカがこの橋の破壊に関係していると思うと言い、現在の西側に支援されたウクライナ指導者は、「ナチス」の言いなりになっていると非難した。

ウクライナのナチスを罵りながら、この女性は、「なぜ彼らは、軍隊と戦うのではなく、市民と戦っているの？ なぜ彼らは幼稚園を銃撃するの？ なぜ彼らは、我々の子どもたちが勉強しているところを銃撃するの？」と言った。

さらに続けて、このクリミアの女性は、ウクライナのヴォロジミル・ゼレンスキー大統領は「ユダヤ人でなく、ファシストだ」と言い、バイデン大統領の名をあげて罵り始めて、途中でやめた。

インタビューされた次の、より年配の男性は、クリミアの人々は、2014年にウクライナに合同することに反対の投票をしたとき、発電所を破壊され、水力施設を閉鎖されたのだと説明した。

最近のこの橋の破壊について訊ねられると、この人は、これは「テロリストの攻撃だ」と言い、ウクライナは何年も前から、この橋を爆破すると威張っていたのだと言った。

一方、キーウ（キエフ）の住民たちは、この恐ろしい攻撃に祝杯をあげている様子が撮影されている。

そしてグローバリストのメディア装置は、ウクライナ政府に加勢し、世界の人々へのプロパガンダを行っている。

左派の過激派が、法廷組織を通じて、アレックス・ジョーンズを亡き者にしようとしています！ どうか彼の戦闘を続けさせるために、法廷闘争を援助していただけるよう、Saveinfowrs.com への寄付をお願いします。

<https://www.givesendgo.com/alexjoneslegal>

[訳者 Geatchain 注]

クリミア半島に住む人々が、どのような自らの帰属意識をもっているかが、このクリミア大橋の爆破事件で、はっきりわかる。彼らは「何、ウクライナ？ クリミアがウクライナだったことは一度もない」と言い、ゼレンスキー大統領の「反露テロリスト」ぶりを攻撃し、西洋とバイデン大統領に対して、彼らがいかに恨みを抱いているかを明らかにしている。彼らは、モスクワのロシア人と全く同じ、言語と風習をもつと言われ、それは 1994 年の、圧倒的多数による Referendum（国民投票）によって決まったことで、ロシアとウクライナ以外の国が、とやかく言うことではない。そしてそれは、先日、ウクライナ内部の 4 つの地域でも、同じ投票が行われてて独立が宣言され、ほとんど 100 パーセントに近い結果によって、親ロシア人民の脱ウクライナ希望が判明した。

この一部の（しかしかなり多くの）人々の、反ウクライナ感情は、先日行われた「アムネスティ・インターナショナル」による調査でも、同じだった。これをあえて捻じ曲げ、ロシアとプーチン大統領をテロリストとして一方的に宣伝する、バイデン政権や EU、そして特に急先鋒の、わが国の公共報道などは、恥を知るべきである。なぜなら、グローバリスト陰謀団と呼ばれる、隠れた権力者の実態は、卑劣で汚い、墮落した、ルンペン信者たちの集団である。その良心を全く持たない彼らの性格は、宗教的（サタンの、純粋悪的、反人間的）なものでしかありえない。

先日、ゼレンスキーは、NATO に対し、ロシアが核攻撃を行う前にロシアに、核の先制攻撃をするように要求した。プーチンは確かに、クリミア大橋破壊に対する、大量の「報復攻撃」を行っている。しかし、プーチンの思い切った戦略と、ゼレンスキーの狂気の要求とは違う。プーチンの演説に見られる豪胆さと冷静さは、狂気とは全く別のものである。

ロシアに最終的な「希望の光を見る」エドガー・ケイシーの予言については何度か言及したが、有名な盲目の預言者ババ・バンガも、プーチンについて同じ予言をしているらしいことを、先日、知った。しかしこれを解釈する人たちのように、プーチンが「覇権を握る」と言うのは曲解または誤解である。なぜならプーチンは「覇権を握らない」か

らである。一国が単一の覇権国家として世界を支配する時代は終わった、各国が独自の主権国家として、協力し合う時代になった、と彼は言っているからである。